

'90
パール特集
〈1〉
誌上シンポジウム

□パールシティ神戸10年に語る
エコロジ―時代の
価値ある真珠

ゲストパネラー

立 亀 長 三

(神戸芸術工科大学教授)

小 泉 一 十 三

(ファッションアドバイザー)

パールメーカーパネラー

田 崎 俊 作

(田崎真珠株式会社取締役社長)

中 村 友 一

(有限会社御影貿易商事取締役社長)

森 隆

(森真珠株式会社代表取締役)

高 橋 洋 三

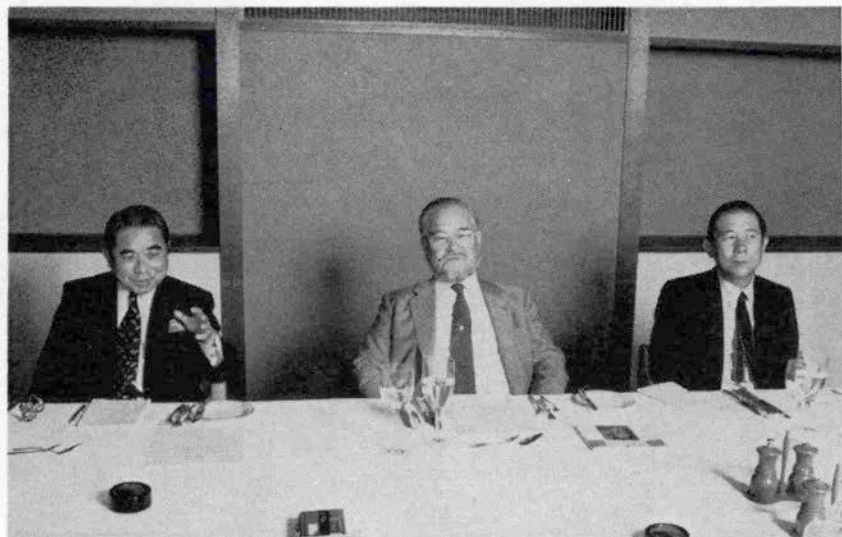
(タカハシパール株式会社取締役副社長)



愛という言葉がピッタリですね<小泉、高橋さん左より>

―神戸がファッション都市宣言をして18年目に至り、昨年はWFFと、ファッションタウンの街開きも行われましたが、真珠も神戸のファッションの一翼を担っています。6月は真珠の月、「ファッション論と真珠」ということで、神戸の真珠をテーマに縦横にお話を伺いたいと思います。まずは業界の現状からお話を：

田崎 流通と生産のバランスを取るのが難しいのです。生産に自然の抑制があり、簡単には出来ないという海の条件がありますので、少し売れると供給不足の傾向になる感じがします。国内の需要も伸び、輸出もある程度順



真珠はロマンです。金儲けの商品になってはいけません／左より／中村・田崎・森・立亀さん>



真珠はエコロジーの原点

調に流れていますが、この先ちょっとした不安もあるようです。が、今のところ順調と言えるでしょうね。

森 女性の地位の向上に伴って、女性自身が行動的になり真珠を使う機会が増えていきます。ですから、今持っているのより大きいサイズが欲しいとか、南洋貝のが欲しいという要望があり、特に中高年の女性に似合うという事で、底堅い需要がありますね。それと、今年は何と言っても紀子さんのご成婚にあやかっているというムードがありますから（笑）。

中村 私は輸出専門に歩いて来ましたが、ここ数年伸びて来た内需と比べ、輸出に少々陰りがありますね。しかし、先週ニューヨークに行きティファニーなどの店を見て回りますと、以前より真珠の置かれている場所、ロケーションがとて良く、スペースも大きいと感じ、アメリカでも真珠の需要が増えているのではないかと気がしますよ。

立亀 神戸がパールシティと言うように、地中海ではバルセロナがパールを扱っているのですよ。

田崎 むこうはマジョリカ島で採れるのですね。

立亀 そう。売買はバルセロナなのです。92年にオリンピックが催されるので、真珠が注目を浴びますよ。

高橋 国内の需要が増えて、業界の構造的な面では随分変わって来たと思います。10年前のポートピア81が開かれた時、パールシティ神戸のキャンペーンを開始しましたが、当初は「神戸は真珠の街ですよ」ということを、対外的に知ってもらおう意図でスタートしました。その事実が浸透した今、第2のステップに立っているのです。国内マーケットが発展し、輸出を中心にして来た神戸の真珠産業も、円高をきっかけとして企業が時代に対応したものに移る時なのです。それは、もっと消費者に近い立場で考え、どのような真珠を送り出す街なのかを組み込んだ、我々自身の行動であると考えています。

★10年目は「美しい海を守ろう」キャンペーンも

森 ファッション都市神戸として、ポートピアの時に盛り上がりましたね。そしてファッション業界はどんどん発展し、真珠業界も地盤を築き我々も業界を挙げて、PRに取り組んで来たのですよ。

田崎 6月1日を真珠の日と決めましてね。今年からイベントをやろうと、まず第1回は神戸でとったんです。森 以前も、世界からデザイン募集コンテストをしたり、パールプリンセスの募集をしたりしましたが、真珠が周辺の文化と共に歩めたらと思うのですね。

田崎 今年は、「美しい海を守ろう」というテーマでエッセイ募集をしたら1650通集まりました。

中村 「たつたひとつぶの真珠」という言葉が多く、その人がいかに大切にしてくれたかがよくわかります。祖母から母へ、母から自分に、そして次は娘にという、不思議な宿命があるようですね。

森 真珠を心でつかんでいることがよく分かります。

高橋 我々が思ってた以上に、真珠が良いイメージで広まっています。年配の方だけでなく、若い方々にも、そして男女を問わず。読んでいて我々自身が救われるような、嬉しくなるような(笑)。

森 思わずホロッとさせられる話がありましたね。

高橋 陳舜臣さんに最終選考をしていただく事もありまして、先生に講演会をしていただくのです。「パールロマン」とテーマして、比較的若い方々に聞いてもらいたいのです。我々自身のロマンをも含めて。

森 エッセイは、5月31日に発表会をします。実行委員長はミキモトの社長さん、審査員に商工会議所の石野会頭などがして下さるのです。

田崎 6月は真珠の月ですからね。1日のパールデーを中心に進める計画なのです。

立亀 パールシティー神戸の発足から10年目に、アニバーサリーをすることは良いですねえ。世の中で物が爆発する時は、政治・経済・文化が一つになり大きく盛り上がるのですね。

高橋 業界外の方との懇親会パーティーもし、我々のメッセンジャーとなるパールプリンセスを選び、またデザインコンテストも世界各国から集まったパールジュエリーのファッションショー形式に見ていただきます。立亀 神戸と姉妹提携している都市でも真珠の日をつくってもらおうと良いですね。今の世の中、日本だけの事にすると私事になってしまいますもの。森 それは良いですねえ。

★何千万の喜び事の代表商品

立亀 真珠は古代からあったのですよ。西洋ではアレキサンドリア大王が、東方征伐の時インドやペルシャから持って帰って来たり、中国では四千年前の夏の時代に一番の貢物であったり、日本ではいざなぎ、いざなみのみことの時代にすでにありました。神功皇后が龍宮城のお土産にもらったという話もありますよ。

田崎 そうですね。二枚貝の中にはいたい真珠が出来るのですから、真珠の歴史は貝の史なのです。

立亀 マンモスが冷下50度で絶滅しましたが、その時も深海に住むヒトデや貝類は生き残っているのですよ。

小泉 人間よりもうんと古いのですね。

立亀 その歴史が大切なのです。世界の人々が、人間と水の関係をMOON・月と言うのです。太陽に対するものとして、真珠を月として大切にしています。それほどものだからこそ、美智子妃殿下も紀子さんも使われるのですよ。歴史の中でいかに喜び事に使われたかを挙げると、何千万ではきかない程。何千万の喜び事の代表商品なのです。

小泉 私は、16歳の時に初めて真珠を母からもらいました。若い娘は何も飾らないのが一番きれいと言って、Tシャツとジーンズで過ごしていましたが、16歳は外国では大人の仲間入りをする歳だから宝石を持ちなさいと、誕生日とは別に6月に小さな真珠のついたリングをくれたんです。

立電 レディーになったお祝いですね。

小泉 私自身小さい頃から真珠が好きでしてね。宝石屋さんに行っても、照り返すようにピカツと光るダイヤなんかよりも、引き込まれるような深みを持った真珠に目を魅きつけられていました。まきが深い程深みのある輝きで、魅了されますね。

森 業界外の方から「巻」という言葉を聞くとは(笑)。

小泉 正しい言葉かどうか知らないのですが、思いつきで言ったのですが。

森 いえ、私たちが取引の時使う言葉ですよ(笑)。

立電 やはり16歳から真珠に親しんで来た方ですよ。

田崎 ウーン、真珠の街ですね。

★自然との共存エコロジ

小泉 私は仕事で、ファッションとアクセサリーの方面も携わっていますが、今、エコロジがテーマです。

立電 '89年から世界のファッションはエコロジという言葉で叫ばれて、今年の秋で3年目ですね。生態学とか生態系という意味ですが、つまりは自然と人間の関わり合いなのです。

小泉 人間と「水」がテーマになっていて、色は水が青、それはやすらぎの色です。そして白、これは内面的なものを表わすのです。去年までは青は、人間に最低限必要な水と言ってきたのですが、今年は空の青、水の青、宇宙まで広げて地球を宇宙から見た青をも表わしています。色からの、イメージとして真珠が出て来ますね。

立電 エコロジについて調べたのですが、パルセロナでガウディがどう表わしたかという、渦巻とヒトデなのです。海にも山にもある、それがエコロジなのです。渦巻は海では巻貝、山ではかたつむりやワラビの新芽。ヒトデは山では花になるのです。ラテン語で真珠のことを「perla」それが「pearl」になったのです。クレタ文明の始まる前、五千年前の壁画にも女性の装飾として、喜び事として表わされているのです。エコロジの

原点は真珠と言って間違いはないと思いますね。

高橋 自然と人間の関わりで、我々のテーマとする「美しい海を守ろう」なのです。美しい海を保たなければ美しい真珠が出来ないのですから。

小泉 神戸でも海が遠くなって行く気がしますね。

田崎 私も、生活の基盤の一つに海の見える所に住もうと思いついて、神戸がその条件に叶っていたのです。ところが海が埋められて遠くなるのと、遮られて来て生活の場から海は垣間見る程度になってしまい、寂しい思いをしています。

小泉 須磨の海岸は防波堤が出来て、囲いの中で人々がお風呂に入っているみたい(笑)。ポートアイランドに六甲アイランドそして関西新空港と、今に大阪湾は全部埋められてしまうのじゃないかと心配になって(笑)。

立電 東京湾もそうですよ。

小泉 まず行動をしてしまつて、後で自然が怒るって事を考えないのかしら……。

田崎 島を造ると潮の流れが変わるでしょう。すると、海の中に住んでる奴が困るだろうなって考えています。

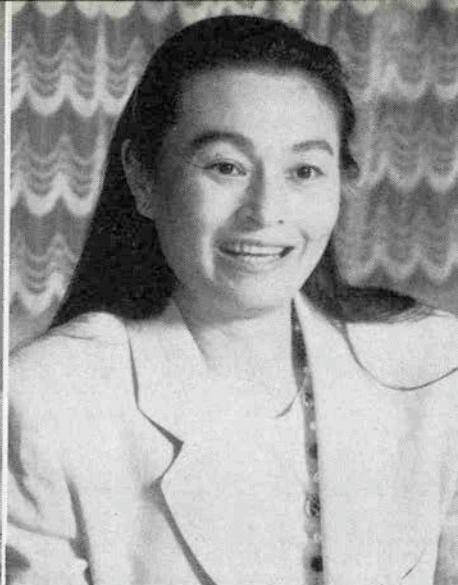
立電 そうですよ。潮流を変えてしまう島を造る時、海の中の生き物にとつてどれ程の被害かを考えてから島を造るのが、これからの本当のエコロジの建築学だと思いますね。

小泉 自然や人間のあるがままの生き方を大切にしないといけないのに、今は破壊の方向へ向かっていますよね。ヨーロッパは「これはいけない、地球を救おう」と立ち上がっているのに、日本などは「まだ時間はある」と泰然自若としています。でも、もう時間は無いと思います。

立電 保障される事で生活を持とうとすると、退廃に繋がると思いますよ。日本の農業は政府が保障しすぎるから近代農業を勉強しないのです。アパレル業界などは何の保護もなしに、ここまでがんばつて来たのですよ。漁師たちも立ち上がり、潮流の事までを自分たちが政府に



田崎俊作さん



小泉一十三さん



立亀長三さん

陳情しなければいけないと思います。お役所まかせでは日本は良くなりませんよ。

田崎 世界の海は広いから、真珠にしてもどこからか必ず採れると思っているのですよね。私は地球上から真珠を守るべきだと思っていますのです。

★人の肌につけると生き生きと輝く真珠

立亀 今日も田崎社長さんは、大きな粒のタイタックをしていらつしやいますね。

森 男の人が真珠をつけている人はめったにないと思うのですが、田崎さんはいつもつけていらつしやる。

田崎 これはオヤジの方針でしてね。真珠業をして宣伝の第一歩は、まず自分をつける事だと。初めはキザッぽくてね。でもつけなきゃ承知せんって言われまして(笑)。

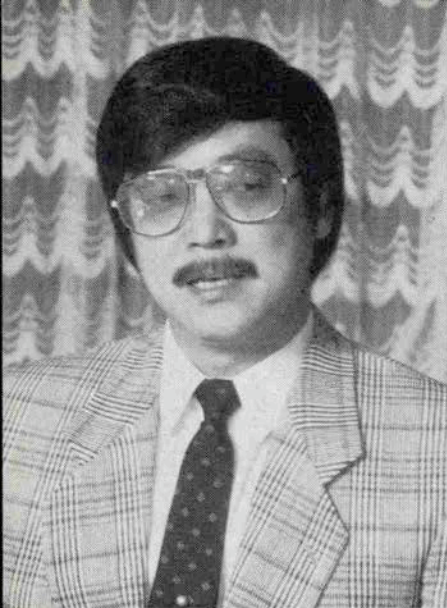
森 でも、なかなかできませんよ。

立亀 男の立場で、七色のタイピンをセッットにして出すといいと思いますよ。小さなものでもファッショントータルにコーディネートできるものがないですね。真珠は、着色せずして七色あるのですよね。ピンク、ゴールド、シルバー、グリーン、ブルー、イエロー、ブラックと、七色の美しい輝きで、その味が稀少価値ですね。皆さんご職業柄、今まで女性が真珠を美しく使いこなしている印象に残る方はいますか。

田崎 真珠をつけているのはすぐ目につくのですが、次には美貌の方に目を奪われているのでしょうか(笑)。

立亀 真珠ファッションはスペインから来ているのですよ。17世紀のパロック時代に至る真珠が流行っていたのですが、いがんだ真珠のコレクションもおもしろいでしょうね。そのパロック時代にスペインの無敵艦隊がイギリスに破れて国力が下がるのですが、ファッションは残るのです。だからイギリスのエリザベス女王の衣裳は、スペインのファッション、スペインの真珠だったんですよ。

中村 王妃と言うと、モナコ王妃のグレース・ケリーがポートピア博の時来られましたね。もう10年経つので



高橋洋三さん



中村友一さん



森 隆さん

時効でお話してもいいですよ。田崎さんの工場を見学になり、私が通訳で同行したのですが、内密でお買物をされました。王妃は、決して高価なものではない9mm粒のピンと、ネックレスを選ばれました。ご自分にぴったりのものを選ばれるのです。そして当時まだ小さかったステファニー王女が「私も欲しい」とレーニエ太公にねだられて、「これ」と一番大きな真珠を選ばれたのです(笑)。すると王妃は「だめです」と言われ、その説明に「あなたが、私ほど大きくなって人間が豊かになったら、これ位のものを買ってもいい」と言われたのです。小泉 その年代に似合うものというのがありますね。立亀 真珠をつけると、もっと美しくそして幸せになると言われるようになればいいですね。

田崎 私は海外に行く時、必ず真珠を何粒かポケットに入れて行くのです。5〜6mmの最上級の物を持つのです。が、真珠と一緒に居ると心安まるのですよ。

立亀 真珠そのものに宗教があるのですよ。代々伝わりトラディショナルに伝統してゆくというくらい。あまり家宝にされると回転しないで困ると言われますが(笑)。田崎 家宝というと、身近なものとは違いますが、真珠はつけてもらって、身につけた人をより美しく見せるし、真珠も美しく見える。置いておくより、人の肌につけるとより美しく生き生きと見えるものだ、常々思っています。また、人にあげると喜ばれ、その姿を見てこちらも嬉しいですね。

小泉 人に喜ばれるのは、自分も嬉しいし気持ちが豊かになるような気がしますね。

中村 人間性が失なわれていく時代に、感激や感謝の心を持つ人しかエコロジが分からないですよ。

立亀 そう、人間性のある人しか21世紀は生き残れないと言っても過言ではないですね。

★真珠産業と異業種とのミックス&マッチを

高橋 今、21世紀へ向かっての転換期だと言われているま

すが、僕は実際の転換期はポルトビア博の時にあったと思っています。それを十分認識しなかったために、今必要以上に悩んでいるのだと考えるのです。真珠を単なる素材としてでなく、形を作り消費者に手渡せる。単純な話ですが10年かかって、やっと定着して来ました。まだ消費者の感性が求めるところや、文化をもっと理解しなければ、望まれるものを提供できませんね。

立亀 真珠は、着物にも洋服にも合うのです。多様性があるものが良いですね。たとえば、シャネルの靴は上の金具の中に皮を通すのが特許です。皮の中に真珠をはめ込んだような、埋込みや半月形で今まで使わなかった分野で、いつも真珠を持つように考えるとまだまだあると思います。和・洋全部使えるのですから。異業種がプロジェクトを組んで、ミックス&マッチをし、日本の新しい文化に持ってゆくのですよ。そしてKFAやKFSはそれを発表する立場です。

田嶋 今まで、我々は真珠の美しさに甘え、頼ってしまつて新しい美しさを発見してゆくことをおこたっています。

立亀 新しい顧客の創造が必要です。真珠屋さんだけで真珠を売っていても伸びないですよ。今まで考えなかったような業種との提携をしないと。日本のハイテク産業が伸びたのもそれなのですから、真珠産業ももっと他の業種とのミックス&マッチを考えてくださいよ。難関は多いでしょうが、神戸はチャンスが一番ありますから。高橋 我々は世界に直結しているのですから、世界の真珠の中心地を単なる素材提供拠点から、パールジュエリー、ジュエリーファクションの中心地にまで持つてゆける素質は十分にあると思います。他の文明産業が発展し広がるように、神戸の真珠も世界へのスタートを始めようと思っています。

田嶋 私は少年の頃からそれを考えていたのですよ。今の若い人たちにやって欲しいですね。ミックス&マッチは、真珠そのものを大事にしたい気持ちから少し抵抗が

あるのですが。でも立亀先生の話を聞いていると、そんな方向へ向かないと大きな広がりを持たないというか、真珠の本当の美しさをもちと世の中の人に知ってもらう手立てとなるのでしょうか。

立亀 10代から20代前半の人たちに、3〜4mmの小粒真珠を普及させるとか。たとえば今、女性は髪を長く垂れています、それをまとめてシニヨンにする流行が来ます。シニヨンに巻くものに真珠をあしらって、最高のモデルにつけさせたら必ず流行りますよ。ファクションでも日本の真似をしてロメオジュリとかはトップになったんです。日本は何でもやれば勝てるというところがあるのですよ。

小泉 私は、真珠そのものが好きなので、仕事の時はTシャツとジーンズに真珠ひと粒が定番なんです。たとえ小粒でも美しいものは美しいのですから、本物を見る目を持って価値を分かつて欲しいですね。

立亀 若い人に、模造と本物の違いを常識的に分らせる教育が必要だと思います。

小泉 そうですね。そしてアクセサリーでも装飾過多で真珠そのものの美しさや、やさしさを失なわせているのがありますでしょう。もっと素朴に、その辺にある石や軽石とかと組み合わせ、お互いの良さを強調し合えるようなデザインも欲しいですね。いろいろな分野で使う時、本物を分ける人が取り組めばいいけど、単にアイデアとして作っていくともの足りないなあと思います。

高橋 今年のパールデザインコンテスト審査の時思ったのですが、日本と海外の作品は少し差があるのですね。海外のは大変夢のあるものが多いと感じました。

田嶋 日本でもこの10年程で、真珠加工のデザイナーが増えましたね。

高橋 もう世界一ですね。

田嶋 真珠の良さを失なわないように、もっと用途が、考え方の広がりがあると言うことですね。

立亀 そう、たとえば靴でも今は2万円はするでしょ。

それなら小粒の真珠がつけられますよ。高品質、高価格になっている今がチャンスですね。そういった事を考えるプロジェクトを組むことを勧めますよ。

★真珠は“愛”

高橋 今回の催しのグランドテーマは“パールコミュニケーション”で、いろいろな環境や時代と関係する事で、新しい真珠を見出してゆこうというのです。たとえば真珠養殖をしている地域の小学生にも呼びかけて、絵を描いてもらい900枚近く集まりました。真珠は夢多きアイテムなのです。単に金儲けの商品となると、結果的に望ましくないものを提供することになります。もっと真珠を造る現場をも大切に、考えれば考える程エコロジーと結びついている事は再発見です。真珠にロマンをということを持続させ定着させてゆきたいですね。今、神戸の真珠業界が一体となっていることを分かっていたいたがいたのです。

中村 現在文明社会の頂点と言ってよい程ですが、人間性が疎外され人間不在の無個性の時代になっています。その風潮に歯止めをするのが、個性を出せるファッションなのです。自然と人間、無機物と人間の接点、真珠は唯一の有機物からできる宝石なのです。他は無機物の石なのですから。我々は真珠を生かさなければならぬ義務があるのですよ。

田崎 我々の使命ですね。

中村 それと、アメリカ中流家庭の奥さんの四種の神器は、カシミアセーター、ネイビーブルーのブレザー、トカゲのパンプス、ミンクのコートだったのですが、最近真珠が加わって来たという嬉しいニュースを聞きました。日本もそうなるべくプロモートをしてゆく事ですね。たとえば自販機で真珠を売る。これは難しい面がいろいろあるとは思いますが、手近になったという点で評価されてよいと思いますよ。若い世代の開発は価値感が全く違うので、デイリーなライフスタイルに近い物を創作して

ゆく事が必要ですね。そのためには、我々の感性を磨きすまし、職人気質と新しい分野との共存なのです。たとえば、家具、織物、輪島の椀にでも使えたら、「あつ、こんなところでも真珠が生きている」と思われるのが幻想の一つではと思います。

立亀 昔、真珠は葉だったのですよ。クレオパトラが体に良いと言って真珠を酢に溶かしてアントニウスに飲ませたと言います。お椀やカットグラスに付けると、健康になるという意味になりますよ。

高橋 健康飲料の他の名より響きが良いですね(笑)。

森 真珠は人間と貝との共生生産物です。何千年も前から愛されて来たり、この先も使う事だけでなく、さんたら輝きを保って欲しいですね。

田崎 いい真珠が作りにくい海の状態になっていますがその美しさを守ることが我々の使命であり、その美しさに甘えることなく、ニーズに対応できるよう柔軟性を持ち、世界の人々からいろいろな面で愛されるようにしたいです。まだ夢多き産業だと、楽しく仕事が続けられます。

森 20代から何歳までも愛され、輝き続ける真珠。女性もいくつまでも美しい輝きを失なわないで欲しい(笑)。小泉 さきほど真珠は月だという言葉がありました、シエクスピアのロミオとジュリエットのセリフで、“あの月に心を誓って下さい”“いえ、日毎に形を変える移り気な月になって誓えない”とあるんです。月の女神は我儘とも言いますでしょ。真珠の清純なイメージとは違う、我儘な表現のデザインなんて面白いのじゃないかと思えますね。

立亀 そういう意味で、真珠は愛という言葉がピッタリですね。移ろいと輝きがあつてね。エコロジーの究極は“愛”なのですよ。

田崎 いいですね。月に誓ってくださいと言うのを“あなたの心をこの真珠に誓ってください”と言われたらいいですね。

(於/ブランドウブランにて)



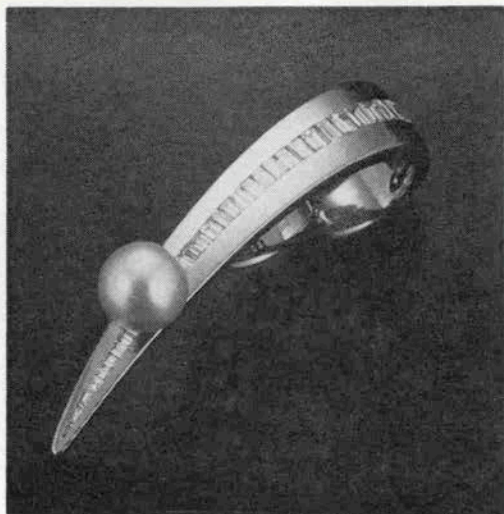
・89パールプリンセスの皆さん

パール特集
 〈2〉
 パールフェスタ
 in
 KOBE

5月30日～6月1日まで
 パールフェスタインコウベ
 10年目はなやかに!

初夏の陽差しに海がきらめく。そのきらめきの中から生まれたのが真珠。海から誕生したヴィーナス、美の使者である。神戸は全国一の真珠の集散地。永年にわたって「美」を全国、全世界に送り出して来た。この「真珠の街・神戸」を神戸内外に幅広く喧伝するために「パールシティ神戸（PCK）推進協議会」が結成されて今年10年目。この節目の年に当って5月30日から6月3日まで新神戸オリエンタルホテルおよびさんちか「ビジョンシアター」で「パールフェスタ in KOBE」が開かれた。

メインイベントは「'90パールパーティー」。'90パールプリンセス最終審査会、ディナー&アトラクションによるパールパーティーなどがその内容。5月31日「真珠の間」にて午後6時より始まりその名にふさわしい豪華なパーティーとなった。司会者は、この華やかな場にぴったりの岡田真澄さん。90年度パールプリンセスのレオタード審査そしてディナータイムの後は、過去に選出されたパールプリンセスが「パール・デザイン・コンテスト」の入賞作品を身につけてのパールファッションショー。今年のデザインコンテスト優勝作品は田崎真珠の大



’90グランプリ作品（田崎真珠）



陳 舜臣氏



青木裕史さん



’89パールプリンセス受賞式。岡田真澄さんと

島弥生さんのデザインの指輪。非常に個性的な作品である。他の入賞作品もよりすぐって選びぬかれ、優勝作品に勝るとも劣らぬ逸品であった。パティは90年度パールプリンセスのウエディングショーと入賞者発表で最高潮に達したがそれに先立って「パールエッセイ」入賞作品の発表があった。最終審査は、作家の陳舜臣氏が担当、フランス、アメリカからの応募を含めて約1600通に及ぶ作品のうちから酒井弘子さんの「真珠のカフスボタン」が最優秀賞に決定し、他の入賞作品も紹介された。

一方、さんちか「ビジョンシアター」では6月1日から3日までデザインコンテスト入賞作品の展示をはじめ真珠製品、読売テレビの「花真珠」紹介ディスプレイなどが展示された。またそれに加え「パールデーキャンペーン」には、ステージイベントとして真珠をモチーフにした歌「6月のエンジェル」を発表した青木裕史さんの出演もあり、豪華な景品が当たるクイズ、「真珠の街・神戸」の紹介ビデオが放映されたり、盛りだくさんのプログラムであったが、特製のケースに入れられたオリエントパールの「8億円の打ち掛け」も話題をよんだ。また「美しい海を守ろう」キャンペーンとして小学生から募集した絵画コンクールの入賞作品は「さんちかファッションウィンドー」に展示された。

ところで今回のグラッドテーマは「パールコミュニケーション」。

まず今までの真珠業界からの一方的なメッセージにとどまるのではなく、顧客からのメッセージをうけとること、第2に国内だけに限らず海外とのコミュニケーションを常にはかること、第3に単に真珠業界というワクの中に限らず異業種、真珠以外の宝石などの業界とのコミュニケーションを考えること、また国内でも地域をこえたコミュニケーションをもつこと。

そして最後に「時をこえたコミュニケーション」。これはPCKが10周年をむかえたというひとつの節目でもあり、時代の流れに対応した真珠と人と世界とのコミュニケーションをめざしたいということである。



養殖場での耕造と紀子

パール特集

〈3〉

よみうりテレビ朝ドラ

「花真珠」

礼宮様御成婚に先がけて

連続ドラマ「花真珠」の

紀子さんもゴールイン

読売テレビ朝8時30分〜56分好評放送中

輝く真珠。「この世に生まれた時から、けがれのない光を放つ真珠がある。人はそれを『花真珠』と呼ぶ」現在放映中のよみうりテレビの朝ドラ（8…30〜8…56）「花真珠」（制作・よみうりテレビ宝塚映像）はこの一節で始まる。

物語は神戸の真珠業界を舞台に美しい女性ヒロイン「紀子」（岩崎良美）をめぐる兄弟の愛の葛藤を描いている。

物語が始まるのが昭和34年。皇太子明裕殿下（現天皇）の御成婚の年で、美智子妃のティアラは真珠で飾られ、第一次真珠ブームが起こった年でもある。ヒロインの名前は紀子（のりこ）とよむけれども、今年御成婚される礼宮様のお妃、紀子（きこ）さんの名前をある程度意識しているの言うまでもないだろう。しかし、物語の中での結婚の時期は礼宮様御成婚の6月よりひと足先に5月になった。

番組のシーンを少しのぞいてみると――。

「あかんわ、皆高うて手が出ない。」

「ほんま、とても買えへん」

「宝石は結婚するときまで、おあずけやな」



紀子結婚シーン



昭彦の生存が確認され、井村家での家族会議

「でも宝石買ってくれる人と結婚出来るやろか」

「そや、それが問題や」

といって笑う女の子たち。思わず笑って口を押える紀子。このシーンは紀子がマダム留守を預かったジュエリーショップの店中である。今ではOLもパールをはじめジュエリーを気軽に身につけられるようになった。これも時の流れというのであろうか。ところで、このジュエリーショップをマダムから直接預かっている文子は、紀子の実の母で、紀子の幼少期に家庭を棄て今は世界をまたにける女性実業家として成功しているのだが、紀子は文子が実の母だということを知らない。

文子 …………伝言は聞いたわ。昨日お店休んだんですって？………略………やっぱりこのお店をやっていくのはあなたにはムリね。

——中略——

文子 仕事をするっていうことは片手間で出来ることじゃないのよ。真珠細工をやるにしたってそう、お店をやるにしたってそう、人の二倍も三倍も努力しても、それでも満足のいく結果が得られないのが仕事なのよ。

床に両手をつく紀子。

紀子 ……私は伊勢の真珠の養殖場で生まれ、真珠をそだてながら育ちました。その、おだやかな海の、冷たさもこわさも知っています。今、先生にいわれて、その海を思い出したんです。あの、海にいた頃の気持ちで、きつとこのお店をいい店にしてみせます！私にやらせて下さい！おねがいします！

文子 やってもらうわ、あなたに。
このあとの展開はどうなるかは番組（6月18日放送予定）をご覧ください。

ところで、この「花真珠」で使われている真珠はすべて本物ばかり。中には一連が数百万円のネックレスもあり、ヒロイン役の岩崎良美さんも最初は相当緊張したとか。神戸の森真珠の全面協力を得ているドラマだが視聴率も上々。真珠のPRにも一役買ってくれている。

経済ポケット ジャーナル

★神戸ガスビルがハーバー
ランドに誕生

大阪ガスが神戸ハーバーランドに於いてより建設中であつた神戸ガスビルが完成し、5月7日より稼働をはじめた。

地上九階、塔屋一階、地下三階、延床面積約一万七千平方メートルには神戸市では初めての地域冷暖房供給を行う「神戸ハーバーランドエネルギーセンター」をはじめ、「神戸支社」「兵庫エネルギー営業部」が移転し、より一層のサービスの向上に努めていく。さらに、平成4年には物販商業ゾーンを中心に、レストラン、カルチャー・フィ



完成予想模型



ットネスクラブ、プレゼンテーションルームなどが入る第Ⅱ期棟も予定されており、同ビルを拠点とした、総合生活コミュニケーションショッププラザを目指し、ハイテクタウンに「やさしさ」と「うるおい」を創造、21世紀にふさわしい街づくりを提案していく。

★JTB六甲アイランドにホテルを平成四年開業
JTB（日本交通公社）は、世界各国にチェーンを持つ米国の「シエラトンホテル」と業務提携し、六甲アイランド内に建設される「六甲アイランドホテル」（仮称）の経営に乗り出すことを明らかにした。

同ホテルはJTBがデベロッパーである「六甲アイランド開発」から土地の分譲を受け、地下一階、地上二十一階建て、延床面積五万一千三百平方メートルのビルを建設していくもので、平成4年春に営業を開始する予

定。周辺には世界の一流ファッション企業がテナントとなる「ファッションマート」やグルメタウンの計画もあり、同ホテルの進出により、六甲アイランドの大ファッション・ビジネスゾーンが誕生する。

★小泉製麻が

新シンボルマーク導入
日本最初の黄麻紡績会社として10年の歴史を持つ小泉製麻（松本定社長・本社神戸）は6月1日の創業

記念日から新しいシンボルマークを導入した。

新マークは社名の頭文字「K」をシンボライズしたもので、青と黒の二色を使い未来へ躍進するスピード感を表現している。

新分野に次々と進出し、生活提案型企業を目指す同社が、従来の黄麻のイメージから脱却を図るため、今回の新マーク導入となった★JCI世界会議、神戸開催正式承認

神戸青年会議所がかねてより提案してきた国際青年会議所（JCI）世界会議の神戸誘致が日本青年会議所の理事会で正式に承認された。

国内的な合意を得られたことで、一九九三年から一九九五年のいずれかの年の開催地に立候補する。



新シンボルマーク

★KOBEOフィスレディ★

多聞由香里さん（20）



今年の4月に入社したばかりの多聞由香里さん。会計担当ということで気を遣うことも多いそうだが、「支社長さんをはじめ、皆さんが助けてくれるので何とかやっています」と頑張っている。

短大で児童教育を専攻しただけあって「子供が大好き。将来はやさしいお母さんに」というのが夢とか。「旅行が好きなので、時間ができればどこかへ出かけたいですね」とにっこり。須磨区在住 獅子座のA型

（神戸支社勤務）
〈東邦生命保険〉

●月刊神戸っ子創刊350号記念

活力ある神戸を創る

21世紀をめざす主要プロジェクト

六甲アイランドは、ポートアイランドに次ぐ神戸第二の海上都市である。総面積は580ヘクタールに及ぶ。

昭和47年度から造成が始まり、平成2年度に完成の予定。

船舶の大型化、物流システムの多様化に対応した住宅、業務、文化・レクリエーション機能を導入した多種機能型複合都市として、21世紀に向かうニュー・コウベのシンボルにふさわしい人口3万人の街が完成に近づいている。

周囲には港湾施設としてコンテナベース、フェリーベースなどが貼りついているが、注目されるのは業務商業ゾーン。

ここには世界中から5000のファッショブランドが集う「神戸ファッションマート」(平成3年9月完成)や神戸ファッション博物館などのある「神戸ファッションセンター」(平成5年完成)、さらに「味」の情報発信センター「グルメビル」やホテルなどの建設が予定されている。

先進の高層住宅群が未来都市を形づくり、六甲ライナーが「夢」を運ぶ――。

六甲アイランド完成予想図

ゴンチャロフ製菓
株式会社

取締役社長 光葉 貞男

神戸市灘区船寺通四二一八
電話(〇七八)八八一二二八八

株式会社

サンテレビジョン

取締役社長 中内 守

神戸市中央区港島中町六九一
電話(〇七八)三〇三三三三〇

NTTテレホン
アシスト株式会社
神戸支店

支店長 今村 喜子

神戸市中央区東川崎町一〇一
NTT神戸支店駅前別館内
電話(〇七八)三七一一八八八

和田興産株式会社

代表取締役 和田 憲昌

神戸市中央区栄町通四二一三
電話(〇七八)三六一二二〇〇

株式会社

オータニ徳風社

代表取締役 大谷 昌代

神戸市長田区松野通一〇二二
電話(〇七八)六二二〇〇八九

ナニワ印刷株式会社

取締役社長 西井 雄三

大阪市北区天満一〇九一九
電話(〇六)三五一一七三七

旧居留地の活性化に 市民の力を結集しよう

□座談会出席者（敬称略・順不同）

水谷 颯介（都市計画家・建築家）

野澤 太一郎（㈱ノザワ取締役社長）

乾 英文（乾汽船㈱代表取締役社長）

今、旧居留地が注目を集めている。これを機に明治の開港以来、海外への窓口として形成されてきた旧居留地の過去、現在を見つめ直し、さらに未来を考えてみたい。そこで旧居留地に関わりの深い方々にお集まりいただき、お話を伺った。

★旧居留地抜きで神戸は語れない

——本誌では今春より、神戸の都市の原点である旧居留地の活性化を図るために「神戸・居留地ルネッサンス」と題した誌上キャンペーンを実施することになりました。本日はその手始めとして歴史を考えながら具体的な旧居留地の街づくりへの提言をお聞かせ願いたいと思います。

水谷 神戸が国際都市として今日まで展開してきた過程において、旧居留地の果たしてきた役割りというのは非常に大きいものがあると思いますね。まず第一に、アジアの中で、港湾都市神戸ということです。明治の初め

に神戸は、開港以来、上海や香港やシンガポールと並んで海運や貿易のアジアでの拠点の一つでした。

今、そういったアジアの各都市が歴史的には租界という宿命をになっけていても、その過去をのり越えた歴史的中心を大切にしています。シンガポールも最近まですべてを建て替える近代化路線だったのを変更して、チャイナタウンやインドタウンの歴史的街並みをしっかりと位置付ける街づくりに努力しています。

それぞれ、神戸の現状より、しっかりと港町としての歴史的な中心保全に取り組んできています。ホテル一つとってみても、シンガポールのラッフルズやバンコクのオリエンタル、上海のキャセイなども大切にしています。

第二に、その歴史的構造の位置付けを現状の拡大した神戸の都心地域の中にどう相対的に意味付けていくかということ。例えば、新しい開発都心としてのポートアイランドなど。

第三が、100年以上の歴史と雰囲気はどう活用していくかのアーバンデザインへの取り組みなどです。いずれにせよ旧居留地抜きでは、港湾都市神戸を語ることは出来ません。

野澤 戦災もありましたし、建物自体かなり老朽化が進んでいるんですが、新しいものの好きの神戸っ子たちのお陰で（笑）今再び、旧居留地がスポットライトを浴びつつあるという感じがしますね。私のように古くからの神戸



乾 英文さん



野澤 太一郎さん



水谷 頼介さん

を知っている人間には、やはり嬉しいことです。

ただ現状では、まとまりがとれてないんですね、街全体として。ですから将来的には、新旧共存の方向に持っていかなければならないと思います。古い建物と新しい建物とのバランスが大切になってくるでしょう。

乾 野澤さんと私の会社は旧居留地内にありますので、注目を浴びるという点では嬉しいですね。悪いことは出来なくなりますが（笑）。

それはさておき、北野、ポートアイランド、オーバとここ10数年の間にブームめいたものが神戸にありましたが、いよいよ真打ちの旧居留地が登場といったところですね。やはりメリケンパークと並んで、港神戸の象徴とも言うべき場所ですから。10年後、20年後の神戸の将来を考える時、この界限をこれからどう有効に活用していくかということが、もっとも重要な問題になるのではないのでしょうか。

まず、我々地元で働いている人間が先頭に立って、考え行動を起こすべきです。それから輪を広げていって、いい方向に進めたいと私は考えています。

★ループバスに続くサムシングが必要

——新しい商業施設の集積も進みつつありますね。

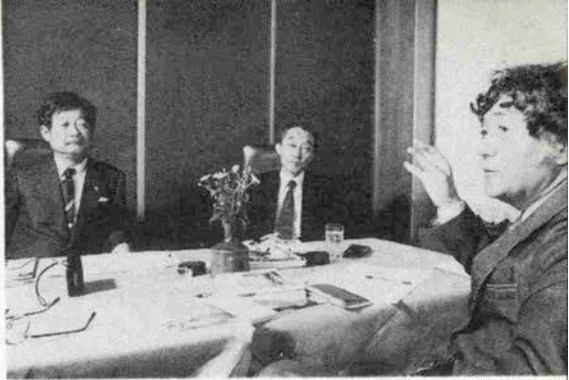
野澤 そうそう。特に大丸さんは熱心ですね。ブロック30、リブ・ラブ・ウエスト、それから4月にオープンしたばかりのジーニアス・ギャラリーも、連日お客さんで賑わっていますね。

乾 店長の長澤さんは旧居留地開発の中心的存在の方です、どの店舗も気品があり、流行に流されない「本物」という感じがします。

野澤 いい意味での「こだわり」というものを持っておられますね。

水谷 今言われた「こだわり」というのは、まず大切なことです。街づくりという面から見ても。

——その街づくりの現状についてはいかがでしょうか。



神戸といえば旧居留地ですね

水谷 やはり旧居留地にふさわしい風格というようなものが、思っていると思いますよ。周りに市立博物館とか海洋博物館がある環境もいいですね。

乾 東遊園地も整備されました。本当にきれいになりましたよ。

水谷 だから旧居

留地に関連した地域は、東は東遊園地や市役所のあるフラワースロードから、西は栄町通り6丁目の三越の所まで広げた範囲だと思うんですね。厳密に言えば、野澤 確かに栄町通りの銀行の建物は、古くて重厚さがありますよね。

乾 南京町にもつなげたいところですね。あの辺りもいい雰囲気を持っています。

水谷 ウォーターフロント計画とも関連しますが、もつと人の流れを東西で活発にしたいですね。

野澤 ホテルオークラが昨年出来ましたが、人はあまり歩いて行かないみたいですし。何かこう人を引き寄せるサムシングがないといけません。今の時代は、街にそのサムシングがないとコンベンションも来ない有様ですからね。

乾 今度、ループバスが走り出しましたよね。これはなかなかのクリーンヒットだと思うんですが。

野澤 同感ですね。ループバスは久々の神戸に起った画期的なニュースですよ。まず神戸JICから、その火の手があがったらいいんですが、それに神戸市がのったということも高く評価できると思います。

水谷 私は旧居留地は、まず日曜日に楽しい街になってほしいんですね。そのためには、ループバスは非常にいい試みじゃあないですかね。親子連れで楽しめますね(笑)。普段はビジネス街であり、ファッション街であり通常あまり小さい子供たちが来ない街です。しかし、子供の目から見て、神戸の街の歴史を感じさせる役割りもあると思います。旧居留地の街並みや建物には。

乾 かつ安心できるベースなんですね。

野澤 将来はサンフランシスコと肩を並べるほどの名物となってもらいたいですね。

乾 ループバスに続くサムシングが、絶対に必要となってきましたね。一時的な打ち上げ花火で終わるのではなくて、将来に亘るようなものがね。

★意見を集めてハイレベルな街に——以上言われたことを踏まえて、今後の展開はどうでしょう。

乾 まず行政、経済界、文化界、市民等の幅広い層から意見やアイデアをどんどん出してもらい、それを煮つめてから、さらに具体化させていく必要があるでしょう。

水谷 旧居留地を全体から見ると、空き地も結構あるんです。度々、各分野の人々に集まってもらって、どんな街づくりを展開したらいいか相互に提案する息の長い常設の委員会を作ったらいいんじゃないかと思います。

乾 そうですね。やはり統一された将来像のようなものがないと。先程、野澤さんが言われたように、まとまりがほとんどないというのは事実ですから、まずトータルビジョンが欲しいところです。今は土地や建物の所有者なり企業なりが、各自でんでバラバラに好き勝手にやっているという感じがします。

野澤 本の受け売りで申し訳ないんですが、街に人が来る要素というものは6つあるそうなんです。まず最初にヒストリー(歴史)、次にフィクション(物語)、3つ目がリズム(音楽)とテイスト(食べ物)、4つ目が何と

ガールとギャンブルなんですよ(笑)。5つ目がサイト・シーイング(観光)、そして最後にショッピング(買い物)ということ。この6つ全てが揃うということは、まず無理な話ですけど、そのうちいくつかはないと確かに人は集まってくるかもしれません。

水谷 旧居留地はいろいろのものを兼ね備えた複合都市ですからね。

野澤 ええ。まず歴史、これは文句なし。神戸で歴史といえどもまあ平清盛の大輪田の泊とかありますけれど、やはり旧居留地しかありませんよね。ショッピングや観光はもちろんのこと、数多くのフィクションもあります。ガールとギャンブルに関しては、乾さんの方が詳しいでしょうが(笑)。

乾 いえいえ(笑)。しかしギャンブルはさておき、ガールというかレディーは増えましたね。一時期の北野界限のような若い女性観光客の集団によく出会いますよ。

本当に華やかになりました。

野澤 観光地ほくなく所を観光しながら、しゃれたカ

フェやレストランを見つけて、お茶を飲んだりするのが流行っているようです。

水谷 ただ街づくりを進めるといふ観点からすると、単に人が来ればいい、増えればいいというのではなく、俗化しないようにも心掛けてほしいですね。あまりにミーンハーンな土産物屋や飲食店は、我々からすると耐えられないですものね。

乾 やはり、神戸発祥の地旧居留地としての誇りは持っていたいですよ。

野澤 大丸さんがされているようなハイレベルな街づくりを、我々も見習わないといけません。私も頼ノザワの異人館の修復工事が、3年後の7月に終了する予定なんです。今の本社屋がある旧居留地の15番館を修復するんですが、昨年、国の重要文化財の指定を受けましたね。異人館建築様式が評価されたということなので、やはり重厚さというか、そういった建物の雰囲気は残しておきたいと思っていますよ。完成後は、前面の庭と異人館の方には、一般の方も自由に気軽に入館出来て、



重厚な建物が年輪を感じさせる



落ち着いたたたずまい



リブ・ラブ・ウエストは盛況

人が集まるようなものを作るつもりにしています。出来れば来られたお客さんに「おやっ」と思ってもらえたらいいですね。

水谷 完成が楽しみです。期待しています。

—— 全くです。次の機会には旧居留地連絡協議会の方々も交じえて、街づくりを考えていくことから始めてはどうでしょうか。

野澤 それはいい考えですね。私のところも協議会の会員なので、是非そこから始めたいものです。

乾 広い範囲の人から意見を汲み上げることが、何度もう言うようですが大切でしょうね。市役所でも「旧居留地研究会」が2年前に出来て、将来の街づくりや容積率問題等の活性化方策について研究しているそうです。やはり民間の我々だけでなく、国（建設省）や県・市などにも協力して考えてもらわないとむずかしいところもありますね。条例とか数字とかは、どうしても避けて通れない問題ですから、専門家でない。

野澤 水谷先生には、これからも協力して頂いて。

水谷 こちらこそ（笑）。私も旧居留地には、大いに期待していますので。

野澤 建物も新旧のバランスをとっていくと同時に、考えるメンバーも新旧の幅広い層から出てもらいたいと思います。どちらに片寄ってもマイナスになりますよ。古い人の知恵とキャリア、若い人の斬新さとバイタリティ等がうまく融合したらいいものが生まれるはずですね。乾 いずれにしても熱意というか思い入れです。よね。

—— 本日はプロローグということで、大まかな旧居留地の活性化に向けてのお考えをお伺いするにとどまりましたが、これから具体的な行動をとるにあたって、皆様のご協力をお願いしたいと思います。どうもありがとうございます。（4月17日、ブランドウプランにて収録）

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。